

令和8年度2学期始業式 式辞

皆さん、おはようございます。校長の川崎芳徳です。

2学期のスタートにあたり、一言あいさつを述べさせていただきます。

初めに・・・7月28日に発生した熊本地震、それにともなうイオンモール熊本の爆発事故、日本製紙八代工場での煙突倒壊事故、8月の千葉県、石川県・富山県、そして福井県での記録的豪雨、海外では、ネパール・中国国境付近の大規模な氷河崩落と土石流、アメリカアリゾナ州の世界遺産であるグランドキャニオンでの洪水など、この夏は国内外で多くの尊い命が失われ、今なお数多くの方々が苦しみや悲しみの中にあります。

深く哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。ちなみに、今日9月1日は、「防災の日」であることを忘れないでください。

このような中、皆さんが今日、元気に登校していることを本当に嬉しく思います。当たり前ではなく、有り難いことであることを心に刻んでおいてください。

どのような夏休み、45日間を過ごしましたか？予定していたこと、目指していた時間の使い方ができましたか。

とりわけ高校3年生の皆さんにとりましては、自分の将来について、これまで以上に真剣に自分自身と向き合った夏だったのではないのでしょうか。個人戦ではなく、団体戦のイメージを忘れず、互いに協力し校内の環境を整えレベルアップして、皆が目指す進路をゲットできるよう突き進んでください。

部活動では、高校剣道部が団体で2年連続インターハイに出場、兵庫県民スポーツ大会では団体準優勝、中学校剣道部は団体で近畿大会出場、個人では2年生の小西遥さんが全国大会に出場、中学校バレーボール部は県大会に出場、吹奏楽部は関西大会で金賞受賞。

皆、正々堂々と本校の代表、兵庫県の代表として戦う姿、一瞬の勝負に千日の鍛錬の成果を出す姿は輝きを放ち、とてもカッコ良かったです。

中には、目指す目標を達成できなかった人もいることでしょう。しかし、目標を定め、そこに向かって続けた日々の努力ほど尊いものはなく、その間、大きく人間的成長を遂げるとともに、一生の友を得ているのです。胸を張って前へ前へと進んでいってください。

さて、まだまだ暑い日が続いているのですが、8月7日が「立秋」で、今は秋まただ中ということになります。

四季に恵まれた日本の季節の中でも、特に秋は、人間の活動に適した季節であるため、色々な言葉で表現されています。「読書の秋」「芸術の秋」「行楽の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」・・・そのような中、「実りの秋」という表現があります。春に種をまき、夏の暑さや強い日差しを乗り越えた作物が、豊かな実りとなり収穫の時を迎えるのです。

私たち人間にとっても、これまでの努力の種や、蓄えてきたエネルギーが具体的な形となって実を結び、結果となって現れてくる季節です。努力、苦労は裏切ることなく、皆さんの血となり肉となり、たくましく生きる力、総合的人間力獲得に確実に繋がっています。

とりわけ、中学・高校の6年間は、長い人生の中でも重要な節目です。植物の竹は、(この写真のとおり)「節」があるから天に向かってすくすくと伸び、激しい風雨の時には見事にしなまって対応できるのです。この「節」が、水分や栄養素を効率よく全体に送るための生命活動の拠点となっているのです。

節目節目の取組、苦労は必ず報われ成果となって表れます。人生の重要な節目の真ただ中を生きる皆さんには、ストレス、プレッシャー、悩み、苦労が多いことでしょう。ただ、この間、人生の太い「節」を作る時間、ストレス、プレッシャー、悩み、苦労を経験するほど、将来の夢の実現に向かっての飛躍、ビッグバンの巨大なエネルギーを蓄えることができているということを認識し、突破して行ってください。

では、いよいよ来週から、自主自律への取組みの一環、「制服・私服の併用」も本格的にスタートします。皆が仲良く、力を合わせ、心を合わせ、楽しむことを忘れず、「実り多き秋の2学期」にしていきましょう。

以上、令和8年度2学期始業式の「式辞」とします。

令和8年9月1日

甲子園学院中学校・高等学校
校長 川崎 芳徳